



真保家の田んぼ



納品された育苗培土

二十四節気 **春分** しゅんぶん - 昼と夜の長さがほぼ等しくなります  
寒さが和らいでくる頃です

今週は気温が10℃以下の日が多く、非常に寒い日が続く予報となっています。昨日は、非常に風も強く雪もちらつき、冬のような天気でした。もうすぐ4月なのにこんな天気じゃ困りますねと、農家の皆さんと話していました。私も育苗培土や肥料農薬の納品がありますので、早く晴れが続く天気になってほしいなと思います。

## ◎◎ 6年産米作りスタート ◎◎

3月も残り10日程となりました。

やっと田んぼが乾き始め、少しずつトラクターの姿を見かけるようになりました。トラクターで作業しているのは、大規模生産者の方が中心で、田んぼから水が漏水しないように壁を作る畦塗(あぜぬり)作業をしています。

昨日、私は新潟市西蒲区の岩室地区の生産者を回っておりました。明日から種籾の消毒と浸種を始める生産法人のところでは、温湯(おんとう)消毒の機械、種籾の準備をされておりました。



畦塗した田んぼ



明日消毒する種籾の準備



温湯消毒をする機械

また、既に作付する**全ての品種の種籾の浸種**に取り掛かっている生産法人もあり、早いところでは、**今月26日に1回目の播種(はしゅ)**を行うと話していました。**弊社近辺の農家の田植えは、ゴールデンウィークがピーク**ですが、岩室の一部地区では、**田んぼに農業用水が供給されるのが、他の地域よりも1週間ほど早く**、**ゴールデンウィークに入る前から、田植えをしている風景**を見ることができます。それに合わせて、**1回目の播種を3月末に行うところ**もあるようです。

皆さん、**6年産の米作り**が始まり、バタバタと忙しく作業されておりました。



種籾を浸漬中

温湯消毒は、種籾を湯にひたし、湯の熱で消毒する方法です。約60℃の湯に10分ほどさらすことで、いもち病を始めとする病害を予防する効果が期待できます。農薬を使用しないため、廃液処理の負担が省けることもメリットです。

